

卒業に向けて～七つの格言より～

進路指導部

鍋島 隆一

25期生の生徒諸君、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。「社会自立」の目標のもと、本校に入学され、それぞれの進路先に羽ばたかれるに際し、心よりお慶び申し上げます。一昨年までは卒業生のみ配布していましたが、昨年からは進路指導部通信として配布させて頂いていますので、2、3年生にとっては、一部改訂しているとはいえ、初めて目にするものではないかもしれません。1年前の自分と現在の自分との「違い（成長）」を感じつつ読んでもらえればと思います。



1 「急がば回れ」

「就職」という目標を持って入学し、その目標を達成した人、就職という形にはならなかった人、様々かと思えます。就職できなかった人は複雑な思いをお持ちかもしれません。しかし、過去にも卒業段階では就職には結びつかなかったものの、訓練を経て就職し、立派に働き続けている人もたくさんいます。

2 「働かざる者食うべからず」

これまでは「学ぶ」という立場で過ごしてきました。今後は働く準備を行い、自分のできる範囲で働き、納税その他の形で社会に恩返しをしていかねばなりません。

「納税者になれ！」これはある企業の方のお言葉です。



3 「初心忘るべからず」

「内定」の結果をもらった時はうれしさがこみあげてきたと思います。時とともに物事の記憶は薄れるものだと思いますが、この時の気持ちを忘れないで欲しいと思います。実習の時には何事にも素直に前向きに取り組んでいたのが、次第に職場の方の指示を素直に聞けなかったり、失敗したときに素直に謝ることができなかったり、手を抜いたりというケースもあります。そんな時こそ「初心忘るべからず」を思い出し、多少嫌なことがあっても素直に謙虚な気持ちで取り組んで欲しいと思います。

4 「継続は力なり」 5 「石の上にも3年」

最近転職も珍しくなくなりましたが、1年も働けてないとうまくいかないようです。逆に3年以上のキャリアがあると実績として評価されるようです。長く勤めることでできる仕事も増え、戦力として会社の中でも信頼されるようになると思います。



6 「三人寄れば文殊の智恵」

つらいときやしんどいときには一人で悩まずに相談して欲しいと思います。話をするだけでも楽になったりするものですし、相談することでよい解決方法が見つかるかもしれません。そんな話のできる人を職場で、家庭で、地域でつくるようにして欲しいと思います。もちろん学校でもかまいません。

7 「よく働きよく遊べ」

仕事以外での楽しみ(余暇・趣味)を持ちましょう。私も社会人になりたての頃、先輩に「遊びは仕事の活力!」と教えていただき、モットーとしています。スポーツ・旅行・電車など何でもかまいません(が、ギャンブル系はお勧めできません。経験上……)。

何か好きなことがあって、その事に向けても頑張る。そうすることで仕事にもいい影響があると思います。ただ、注意して欲しいことを1つ。余暇を優先させるようなことのないようにすることです。余暇というものは仕事をきちんとやり遂げた上でのことですので(休日にゲームのしすぎで夜更かし。休日明けは寝ぼけ眼で出勤してくる。休日明けは仕事にならない!というダメ出しを頂戴したようなこともあります。)

それではまた。25期生の皆様の今後のご多幸を祈っています。それぞれの進路先で活躍している姿を見るのを楽しみにしています。

おう、労働者諸君、
今日も一日ご苦労様でした。
さあ、明日はきっとカラッと晴れた
いい日曜日だぞ!

